

はじめに

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。

セット内容

！ 組立ての前に、必要な部品がそろっているか確認してください。
※組立て前の部品に異常や破損、不足が見られましたらお客様相談室までお問い合わせください。

ジョイントピン、スナップリングが付属しています

製品ロット番号：フレーム裏面にシールで記載

①ハンドル ②本体フレーム ③後輪(2個) ④背もたれフレーム ⑤サドル ⑥ガード支柱 ⑦リアカゴ

⑧セーフティガード(L/R) ⑨背もたれ ⑩押棒(上) ⑪押棒(下) ※この部品は取付いた状態で梱包されています

⑫ノブナット(3個) ⑬ワッシャー(3個) ⑭スプリングワッシャー(3個) ⑮リアカゴ用ボルト ⑯押棒キャップ ※押棒を取外した際に使用する部品です。

⑰ギミックイ ⑱ギミックイ用ノブボルト ※ギミックイ用ノブボルトはギミックイと同じ箱に入っています。

⑲取扱説明書/本書 ⑳品質保証書

アンパンマンごうV 完成図

⚠️ 小さな部品が含まれます。誤飲等の恐れがありますので、お子様のいない所で組立ててください。

●保護者の方へ ~必ずお読みください~

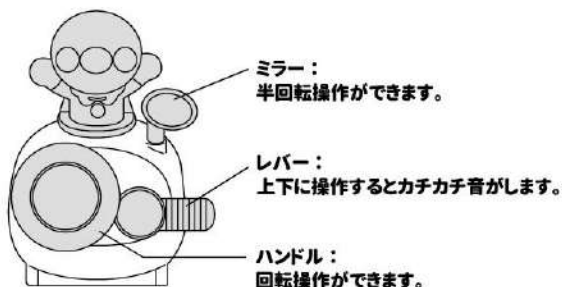
⚠️ 注意

- 乗車前の点検として、ハンドル・車輪・サドル・ペダルにガタつきや緩みがないことを確かめてください。
- 使用対象年齢は1才半から4才(4才11ヶ月)までが適正です。(身長77cm~100cm)
- 初めて一人で使用する幼児については、保護者が使用上の注意を指導し、保護者のもとで遊ばせてください。また幼児の足が地面及びペダルに確実に着く事を確かめてからご使用ください。
- 長期のご使用でネジやナットが緩むことがあります。定期的に締め直してください。
- 故障の原因にもなりますので砂場や水たまりで使用しないでください。
- 押棒、足乗せステップ、セーフティガードは自分で三輪車をこげない幼児のための補助具です。幼児の足が地面及びペダルに確実に着き、自分でこげるようになりましたら押棒、セーフティガードを取外し、足乗せステップは取外してください。取外した部品はお子様の手の届かない所に保管してください。
- 屋外で使用された後は直射日光を避け、雨ざらしにしたり水をかけないでください。
- 火気のある所、高温の場所は変形、故障の原因にもなりますので近づけないでください。

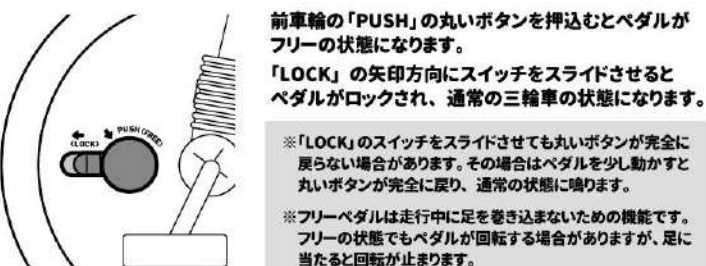
⚠️ 警告

- 素足で車輪に巻き込まれると危険ですので、三輪車に乗る際にはお子様に靴をはかせてください。
- 安全のため、押棒はお子様に触らせないようにしてください。また保護者が押棒を操作する際には必ずフリーペダルをご使用ください。
- 幼児がサドルの上に立ち上がらないように注意してください。また押棒に寄りかかると三輪車と共に転倒する危険があります。十分に注意してください。
- 三輪車は構造上、ハンドルを切った時やペダルを踏み込んだ時に転倒することがありますのでご注意ください。
- 幼児の足が地面に十分着かない状態で使用しますと転倒する危険がありますので、大人が付き添ってください。
- 車輪の周囲や回転部分には手や足を入れないようにしてください。
- 坂道や車両の交通量が多い所では使用しないでください。
- 斜面及び段差のある場所、転落の恐れがある場所では乗らないでください。
- 二人乗りなどの危険な乗り方は絶対にしないでください。
- 足乗せステップの上に立たないでください。また乗車時の踏み台にしないでください。
- 押棒を付けた状態で使用する時は、必ず足乗せステップを広げて使用してください。
- セーフティガードを開閉する際は必ず保護者が操作を行い、ガード支柱の穴にお子様の手が巻き込まれないよう、注意してください。
- リアカゴの荷物を出し入れする際は、必ずストッパーをかけた状態で行ってください。
- お子様を乗せたまま三輪車を持ち上げないでください。
- 時々手入れ点検をして、故障及び破損したままで使用しないでください。
- 三輪車以外の目的で使用しないでください。
- 業務用・団体等で使用しないでください。
- 小さな部品があります。組立てる際、誤飲の恐れがありますのでお子様がそばにいない状態で行ってください。
- 梱包用の袋で遊ばないでください。窒息の危険があります。
- セーフティガードの上に乗ったり無理な力をかけないでください。

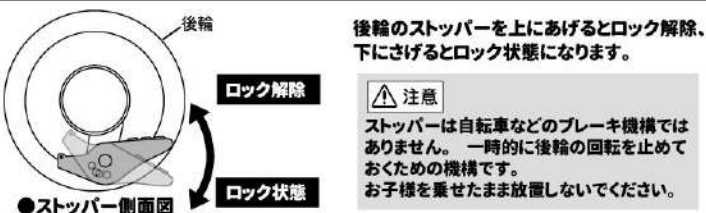
ギミックイのお遊び方



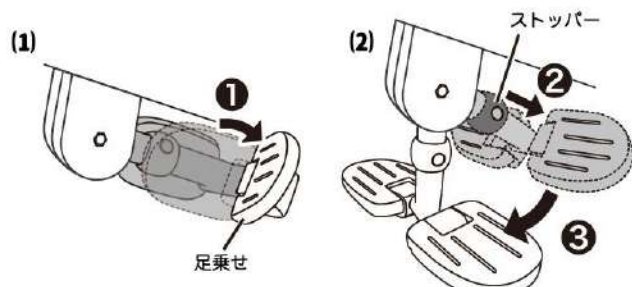
フリーペダルの使い方



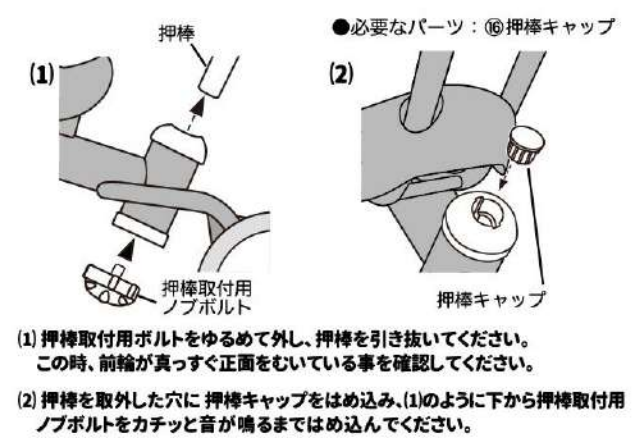
ストッパーの使い方



足乗せステップの使い方



押棒を取外してご使用の場合



日頃のお手入れ

- 本体や車輪に付いた泥などの汚れは、柔らかいブラシや布で拭いて落としてください。ひどい汚れは布に水や中性洗剤を薄めた物をふくませてぬぐった後、乾いた布でよく拭いてください。(シンナー・ベンジンなど揮発性の物は使用しないでください。)
- 前車輪の軸受け・ハンドル金具の回転部分・後車輪の車軸にのみ、家庭用のマシン油か自転車用油等を3ヶ月に一度程度、少量注油してください。

SG マーク制度は、三輪車の欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。

製品に関するお問い合わせ

エム・アンド・エム株式会社 お客様相談室
受付時間：9：00～17：00 (土日、祝日を除く)
0120-078815 (フリーダイヤル)

品番 0211

おでかけ三輪車 アンパンマンごうV

発売元 **株式会社ジョイパレット**

販売元 **エム・アンド・エム株式会社**

本社 〒542-0072 大阪市中央区高津1丁目10番14 TEL.06-6761-1500 (代) FAX.06-6761-7677
本社代表アドレス E-mail:web@mimi.co.jp **www.mimi.co.jp**

※品質向上の為、一部仕様を変更する場合がありますのでご了承ください。

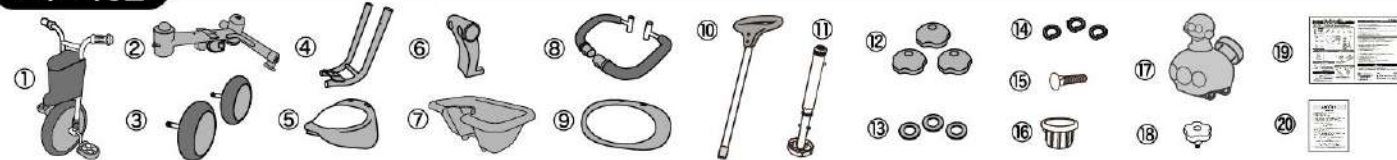
組立て方



組立ての前に、説明書オモテ面の「セット内容」で必要なパーツがそろっているか確認してください。
組立ては必ず大人が行ってください。
組立てが終わりましたら梱包材は廃棄、またはお子様の手の届かない所に保管してください。

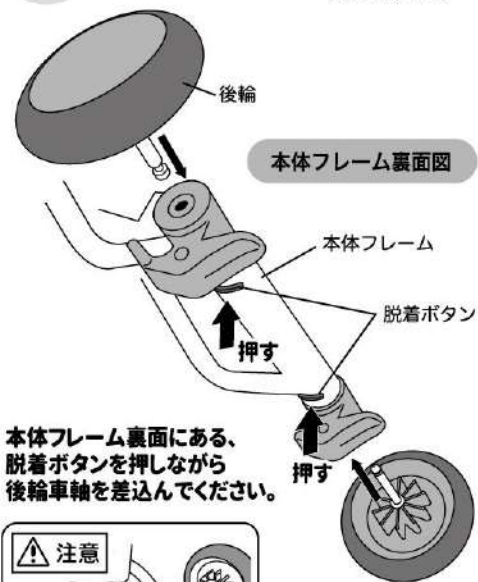
セット内容

※各パーツ名は説明書オモテ面に記載しています。また取扱説明書内に「組立てに必要なパーツ」と表として番号とパーツ名を記載していますので確認してください。



1 後輪の取付け

- 必要なパーツ：
②本体フレーム
③後輪 (2個)



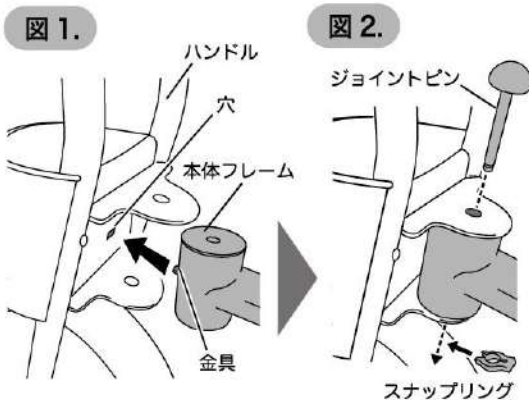
本体フレーム裏面にある、脱着ボタンを押しながら後輪車軸を差込んでください。



後輪を取付けた後は、後輪を外側方向に引っ張り、しっかり固定されているかご確認ください。

2 ハンドルの取付け

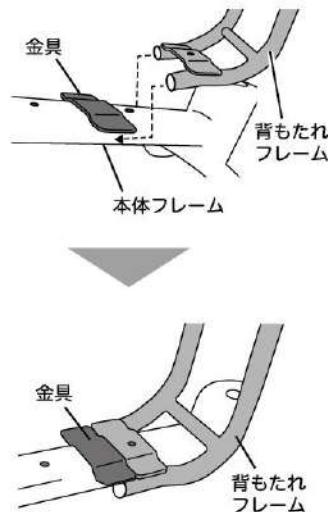
- 必要なパーツ：
①ハンドル
②本体フレーム



- (1) 本体フレームに取付けられているスナップリングを外し、ジョイントピンを抜いてください。
- (2) 図1. のハンドル背面の穴に、本体フレームのヘッド部分から出ている金具を差込みます。
- (3) 図2. のようにジョイントピンを本体フレームの穴に通し、根元まで差込みます。ジョイントピン下部の溝にスナップリングをはめて外れないように固定してください。

3 背もたれフレームの取付け

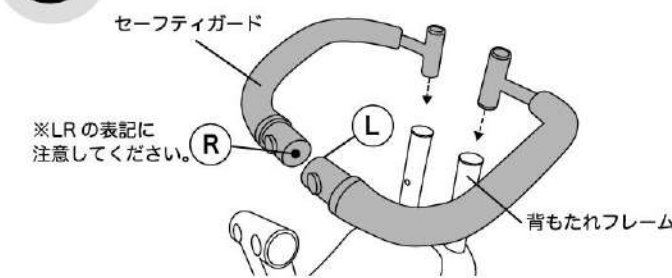
- 必要なパーツ：
④背もたれフレーム



背もたれフレームを本体フレームの金具に引っ掛けるようにセットします。
※固定は次の項目で行います。

6 セーフティガードの取付け

- 必要なパーツ：⑧セーフティガード(L/R)



- (1) 背もたれフレームにセーフティガードを差込みます。※LR表記に注意して取付けてください。



- (2) セーフティガードのボタンを押込みながらガード支柱に固定してください。
※ガードを開閉する場合はボタンを押しながら行ってください。



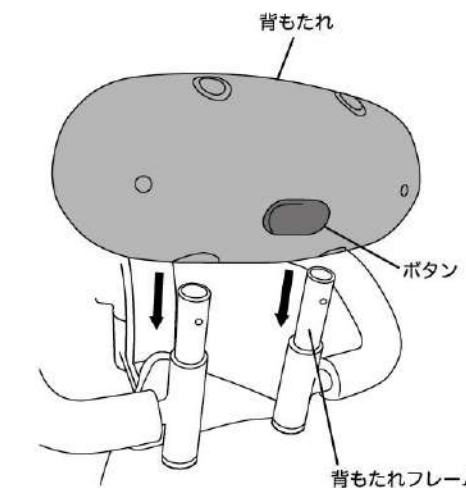
※ボタンが穴から出ない場合、ガードの※の部分に前後にひねり、ボタン位置を調整してください。



セーフティガードの上に乗ったり無理な力をかけないでください。開閉の際はガード支柱の穴にお子様の手が巻き込まないように注意してください。

7 背もたれの取付け

- 必要なパーツ：⑨背もたれ

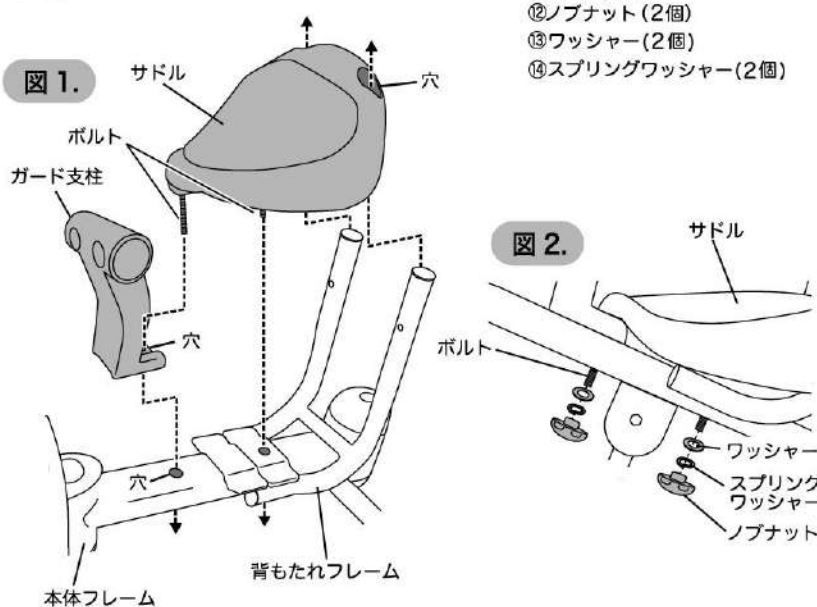


背もたれ背面のボタンを押しながら背もたれフレームに取付けます。

※ボタンがカチッとハマるまで奥に差込みます。

4 サドル、ガード支柱の取付け

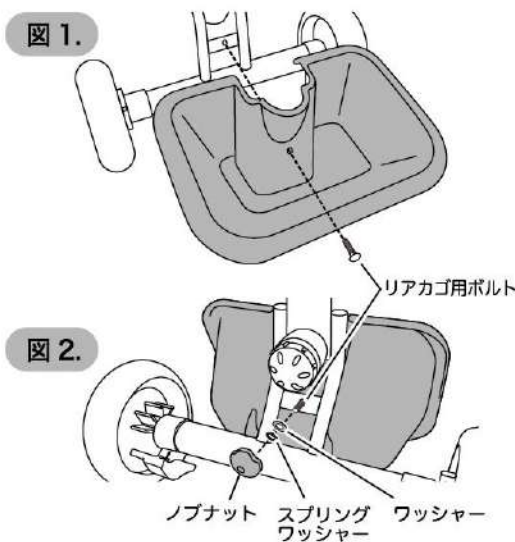
- 必要なパーツ：
⑤サドル
⑥ガード支柱
⑫ノブナット (2個)
⑬ワッシャー (2個)
⑭スプリングワッシャー (2個)



- (1) サドル前方のボルトをガード支柱の穴に通します。
- (2) サドル後部の穴に背もたれフレームを通します。そのままサドルをさげ、ボルトを本体フレームの穴に通してください。
- (3) ワッシャー、スプリングワッシャー、ノブナットを図2. の順番で取付けしっかりと固定します。

5 リアカゴの取付け

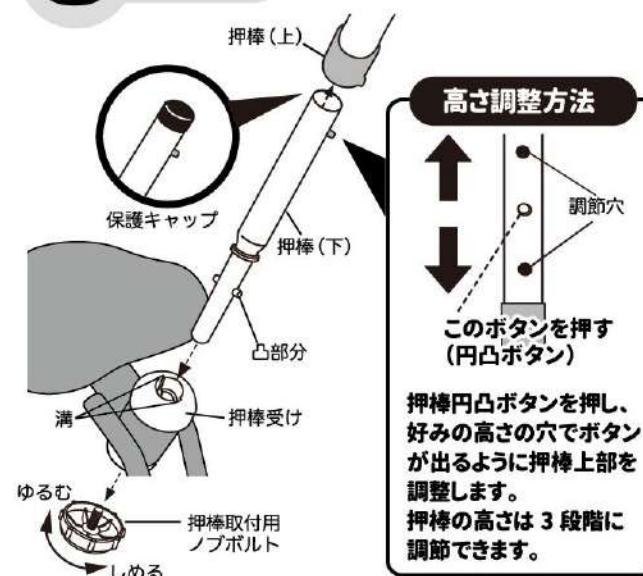
- 必要なパーツ：
⑦リアカゴ ⑩ノブナット ⑬ワッシャー
⑭スプリングワッシャー ⑮リアカゴ用ボルト



- (1) リアカゴを本体フレームの後ろパイプの上に置き、図1. のようにリアカゴと本体フレームの穴位置を合わせてリアカゴ用ボルトを通します。
- (2) ワッシャー、スプリングワッシャー、ノブナットを図2. の順番で取付けてしっかりと固定してください。

8 押棒の取付け

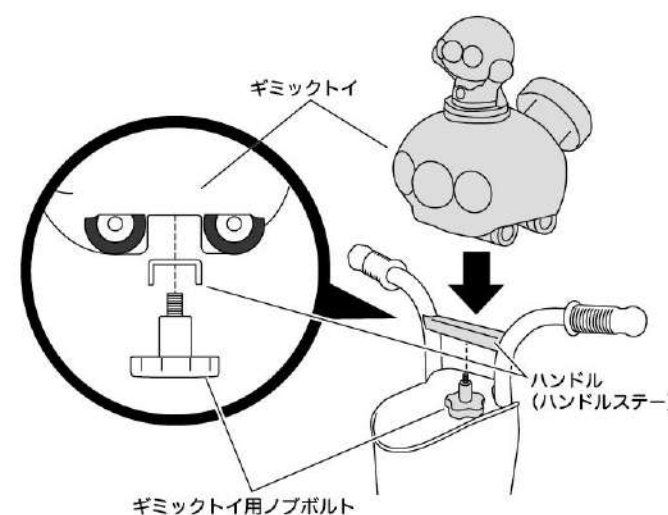
- 必要なパーツ：
⑩押棒(上)
⑪押棒(下) 押棒取付用ノブボルト



- (1) 押棒(下)の保護キャップを外し、押棒(上)の溝に押棒(下)の円凸ボタンを合わせて差し込みます。
- (2) 押棒取付用ノブボルトをゆるめて外し、押棒の凸部分と押棒受けの溝を合わせて差し込みます。この時、前輪が真っすぐ正面を向いている事を確認して奥までしっかり差込んでください。
- (3) 押棒取付用ノブボルトを下から取付けて固定します。

9 ギミックイの取付け

- 必要なパーツ：
⑰ギミックイ
⑱ギミックイ用ノブボルト



- (1) ギミックイをハンドルのハンドルステーに取り付けます。
- (2) ハンドルステー裏面からギミックイ用ノブボルトを差し込んでしっかりと固定してください。